

東北地方で続々と新店舗を出店中。

支持率の高さからも、将来的にますます発展する予感。

都内サロンで働いていたとき以上にやりがいを感じています。



丹内さんを中心に3人でスタートした東北メンバーも、現在は200人を超える大所帯へと成長。今後の東北地方の発展に期待が寄せられている。

都心より、地方が熱い!? 月収100万円スタッフも続出中

「職場の仲間との情報交換に刺激を受けながら、もっと自分たちが成長できるステージへと登っていきたい」「東北の美容業界を盛り上げたい」と前向きな気持ちを話してくれた東北のAguで活躍するスタイリストたち。

「仕事のやりがいを考えたとき、真っ先に思い浮かぶのが給料です。Aguで働き始めた初月は、開店したばかりだということもあり、毎日が忙しく、フル出勤していました。そのときの給料が100万円。収入アップした分、豊かな生活も手に入れることができ、その分広い視野から美容業界を見つめ直すきっかけになった」と話す。業務委託サロンでの収入は、自分が働いた分だけ収入を得られるというシンプルな仕組み。収入アップが実現できるか否かは、自分次第なのだ。

丹内さん 自分が見た限り、ジュニアスタイリストクラスで入社した人も、忙しいサロンワークのなかでお客様を対応していくうちに、1カ月後には見違えるほど技術が上達している。これってすごいことだと思う。技術練習をいくら積み重ねても、それを発揮できる場所がなければ自分のスキルとして磨くことができないよね。スタッフの成長もサロンの成長も、その力ぎをにぎるのがお客様だね。

佐藤さん 東北地方の出店に何度も携わってきましたが、こんなにもお客様に恵まれるとは思っていませんでした。都内のサロンに勤めていたときよりも、何倍もお客様に来ていただいています。それに美容技術の高さに価値を感じてもらっているのを感じます。スタイリストにとってもやりがいのある環境ですね。

丹内さん 首都圏で働いていた美容師が、地元に戻っていき働くこととしたとき、どのサロンに入社したらいいかと迷ってしまっただけ。特にスタイリストデビューして間もない人などは、もう一回アシスタントからスタートしなければいけないのかな、という懸念もあると思います。そういう人は思い切って業務委託という働き方を選ぶのも一つの方法。自分のペースで働けることもポイントだと思います。

勝ち組サロンで始まる成功人生! Vol.6 さらにヒートアップ! 東北の美容業界

近年で急成長をとげ、全国に店舗を展開中のAguグループ。その大躍進の陰には、個性豊かなFCオーナーたちの存在も大きい。ここではAguを支えるFCオーナーたちの素顔にフォーカス!



東北地方で活躍中の 東京帰りの美容師たち

Aguグループ FCオーナー



株式会社Puzzle
代表取締役
丹内 悠佑さん

岩手県出身。仙台市内の美容学校を卒業後、都内の有名サロンに入社。代官山店に配属され、4年間アシスタントを経験する。その後、1店舗を経て、24歳のときに業務委託サロンAguに参加。直営店舗のマネージャーとして東北エリアを中心に店舗開発を行う。26歳でFCオーナーへ転身。29歳となった現在は34店舗のFCオーナーとして活躍中。

2017年にはFCオーナーへ



佐藤 剛さん

宮城県出身。地元美容専門学校卒業後、東京、神奈川、東京、埼玉のサロンでの勤務経験を経て、地元での出店を目指す。仙台市内で出店リサーチしている際にAguを知り、2013年に入社。やがてAguのFCオーナーになる道を目指すようになる。現在、エリアマネージャーとして仙台を中心に活躍。27歳。

2017年夏
FCオーナーの下から
待望の新オーナーが誕生

ここに登場する2人は、首都圏のサロンで経験を積んだ後、故郷のある東北地方へUターン。そして現在はAguの東北展開を支えるキーマンだ。すでにFCオーナーとして活躍中の丹内さんの下から、佐藤さんが新たなFCオーナーに加わることが決定し、ますます東北エリアの美容シーンが活性化されそう

丹内さん ここ数年で一気に東北地方に30店舗出店したけれど、どのサロンの集客にも成功しているよね。お客様が途切れることなく来店される、その要因は何だと思っ?

佐藤さん Aguという名前が浸透したことも大きいんじゃないかなと思います。やはりスタイリストが全ての施術を担当するというやり方に、お客様も信頼を寄せてくれているんだと思うんです。一人のスタッフが仕上げる分、クオリティもあがり、安心して任せられると言ってもらえます。美容への思いが強いスタッフも多いから、スタイリスト同士で技術を教え合うこともある。お客様はびっくりしなげに来店されるし、スタッフ同士で技術の共有もできるから、否応なくスキルもあがっていくんです。